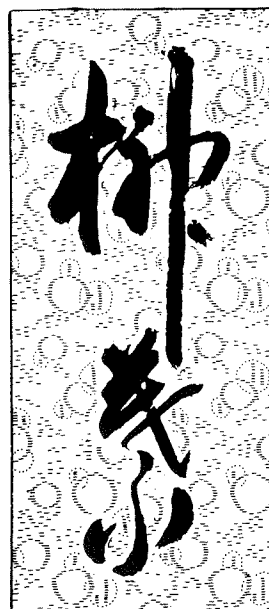




大麻頒布報告祭 (鈴鹿市 江島若宮八幡神社)



会報「榊葉」第8号  
 昭和58年2月20日発行  
 発行者 富永主税  
 編集 広報委員会  
 発行所 津市鳥居町  
 三重県神社庁内  
 三重県神道青年会

## 「地方の時代」と神社

副会長 圓藤 恭久

七・八年前頃から頻りに「地方の時代」ということが言われて来たが今は、方にその方向への模索から胎動への時にあるのではないだろうか。

この流れは、所謂「地域主義」であり、これが目的は地域の歴史と伝統を生かし、住みよい地域社会をつくることにある。この意味からすれば「地方の時代」とは、新しい町づくりの時代と言える。

ところで、このような時代を考える発想の基本として、ある学者は、型化、垂直化、伝統の再認識、の三点を挙げている。これらはいずれも現代社会の風潮である巨大化、水平方向への拡大化、伝統の軽視に対するものであることは言うまでもない。又、町づくりを進めるうえで最も注意すべきこととして、自然との調和人間関係すなわち、コミュニケーションの二点を指摘している。

さて、現役員の任期も既に一年半が過ぎた。この間、富永会長のもと役員一丸となって諸事業に取り組み、わけでも会長の強い意向により、会運営の充実と会員意識の昂揚とを重

点目標として、各種委員会の設置とその活動による会運営の推進に鋭意努力してきた。その結果、神宮大麻頒布促進活動、ブロック会、お宮の子供会等、その他諸事業がいずれも多大の成果を得たことは、誠に喜ばしい極みであり、偏に会員諸兄のご理解とご協力の賜と心から感謝申し上げる次第である。

翻って、新しい町づくりの時代である現下において、我々神道青年の使命は、誠に重大なものがあろうかと思う。すなわち、この町づくりに我々が如何に参加し「神社」が、その核と成り得るかが問われている時、我々神青会は、持ち前の行動力に加え、さらに諸問題に対する情報の提供、また対策案の提言等といったインフォメーション的な会活動が必要となってくるのではないだろうか。その為にも委員会活動の一層の充実が望まれるところである。

おわりに、会活動へ会員諸兄の積極的な参加を懇願いたし、益々のご活躍を祈念申し上げる次第である。

(神宮宮掌)

### 第7回お宮の子供会

## 四日市市・志氏神社にて開催

第七回「お宮の子供会」は、四日市市大宮町鎮座志氏神社（富永主税官司）において、去る八月五日より七日までの二泊三日の日程で開催された。今回は小学三年生より中学生まで六十七名の多くの参加者があり、志氏神社参集所を会場に、同神社の関係者や敬神婦人会の協力を得て有意義な活動ができた。

第一日は午後現地集合、神社参拝の後、あんどんの作成、映画会、きもだめし等の行事があった。第二日は早朝よりみそぎの行事があり、手桶で清水を浴び、掛け声も勇ましく、子供なりにみそぎの清々しさを感じていた。朝拝の後、萬古陶芸センターを見学、子供たちも素焼の皿に思い思いの絵を描いた。午後からは、四日市文化会館を見学、子ども芸術劇場の鑑賞、市施設の見学等々。夜は前



かがり火を囲んでゲームをする子供達

日作成したあんどんに御神火を頂き、當火を囲んで歌やゲームに楽しいひとときを過ごした。第三日は、みそぎの行事の後、感想文の作成、宝さがし、神社参拝を行い、全日程を無事に終了した。

今回のように多くの参加者があったことは、「お宮の子供会」の内容が充実してきたこと、また青少年の育成教化に強い関心ももたれてきたことを示すものであり、今後の本会の活躍が一層期待されるものである。

### お宮の子供会アンケート

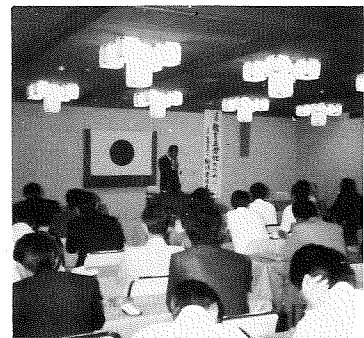
(アンケート回答者数 13名)

- 問1 あなたは「お宮の子供会」を何で知りましたか？
- ① 氏神様の宮司さんから聞いた.....10名 (77%)
  - ② 近所の人から聞いた.....0名
  - ③ 子供から聞いた.....1名 (8%)
  - ④ 神道青年会のチラシを見た.....1名 (8%)
  - ⑤ その他.....剣道の先生から.....1名 (8%)
- 問2 あなたのお子様はこの夏、何回キャンプに出かけましたか。又、どういった団体のキャンプに出かけましたか(お宮の子供会を除く)
- 0回.....7名 (54%)
  - 1回.....3名 (23%)
  - 2回.....3名 (23%)
  - 3回.....0名
- 主催団体名  
個人・家族・小学校・町内子供会・友人
- 問3 あなたのお子様は、これまで何回「お宮の子供会」に参加しましたか？
- ① 今回はじめて.....10名 (77%)
  - ② 今回で2回目.....3名 (23%)
- 問4 あなたのお子様の「お宮の子供会」に対する印象はどうでしたか？
- ① たいへん楽しかった.....12名 (92%)
- 理由  
町内の子供会とは異なった楽しみがある。  
共同生活を通じて友達が多くできた。  
親元を離れての活動・冒険ができた。
- ② あまり楽しくなかった.....1名 (8%)
- 理由  
食事がまずかった。
- 問5 あなたのお子様は、家に帰ってどういふことを話されましたか？(一番印象深かった事)
- ① 朝のみそぎ.....5名

- ② 朝拝・夕拝.....0
  - ③ 映画のつどい.....1名
  - ④ 萬古陶芸センター見学.....3名
  - ⑤ 四日市市文化会館・伊坂ダム見学.....2名
  - ⑥ キャンプ ファイヤー.....2名
  - ⑦ 宝さがし.....6名
  - ⑧ きも試し.....3名
  - ⑨ その他.....3名
- ⑩ 食前食後の感謝のことばのこと。  
・友人ができたこと。  
・流しそうめんのこと。
- 問6 あなたは神社で行うキャンプに何を期待しますか？
- ・健全な子供の場として輪となり社会の事を学んで欲しい。
  - ・共同生活を通じて子供達の心身を鍛えて参拝作法。
  - ・礼儀作法
  - ・食事の仕度・後片づけ等、子供達の手で。
  - ・神を敬う心。
  - ・自覚をもって他人の為に役立つことを教えてほしい。
- 問7 あなたは三重県神道青年会という団体をご存知でしたか。
- ① 知っていた.....9名 (70%)
  - ② 今回初めて知った.....4名 (30%)
- 問8 あなたはこれからの神社界・又は青年神職に何を期待しますか？
- ・子供の見本となる人を多く育成してほしい。
  - ・国民精神・敬神生活の昂揚・民族意識の培養。
  - ・教化指導活動。
  - ・神社と氏子青年とのつながりの強化
  - ・神・仏を大切に、感謝の気持ちを教える。
  - ・ボランティア活動。
  - ・神社での行事を少しでも多く計画してほしい。

## 東海五県神青協連絡協議会 並びに教化研修会に参加して

山本行恭



去る五十七年九月八日・九日の両日、東海五県神道青年連絡協議会及び教化研修会が、静岡県熱海市で開催されました。五県よりの出席者七十名余りの会員が一堂に集い、雨の中、来宮神社正式参拝に始まり、MOA美術館見学も折り込まれて一日目であった。雨足が相当激しい中、ホテル迄の急な坂道、遂にバスがエンジントラブルを起こし、多勢が下車し、徒歩でホテルまで辿り着いたというハプニングも起こったが、同夜は恒例の懇親会に花を咲かせての狂宴であった。

翌朝八時半より南坊城会長をまじえての連絡会議の後、元文部省管理局长・柳川覚治先生による「教育正常化のために」と題する講演を拝聴した。

同氏は、嘗て文部省に永年勤務された経験と実績とをふまえた上で、穏やかな中にも熱意のこもった講演を二時間に亘り謹聴した次第です。

先ず、松尾芭蕉の「おくの細道」より「月日は百代の過客にして、行

きかう年もまた旅人なり。……」との冒頭を引用され、退官の寂然を述べられた中、以前担当された三保の松原清掃運動に近辺の小中学生等が自ら汗を流して松原の生命を存続させる会があり、前にも増して綺麗に整備された事実を識った時、現今の教育体制下における青少年のほのぼのとした実態に明るい希望の片鱗を窺うことが出来た。この他、北海道大学、筑業大学等の校内の様子を語られ、日本人としての古式床しい伝統に習い、畳の部屋を作り設けることを提案し、それを実践して盛んに

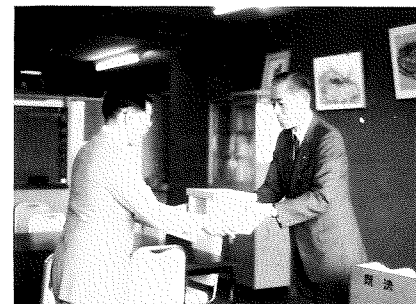
利用し効を得ていることや、或いは体育館又、神聖な武道場には、神棚を祀り札を重んじ、節を尊ぶ精神が今もなお文化遺産として明日を担う若者等の間に連綿と流れていると思う。

今の教育基本方針を鵜呑みにして、何等改善もせず、師弟同士で互いに汗を流して事をなすことすらもしい教育者が多い中、逆境にもめげず、善進して行こうとする青少年の心を育てはぐくむことこそ真の教育者であるまいか。正に、原点への復帰を行う必要に迫られている時であることを痛感する。

家庭内暴力、校内暴力、非行化が後を絶たないということは、いずれも環境というものに大きく左右されている事から、先ず親として和を保ち、神仏に感謝する心が大切であり、それによって真理の空白から逸脱し得る努力を怠ってはならないのではないだろうか。

この後、先生の都合により質疑応答は省かれ退席され、続いて富永会長が議長となり、南坊城会長をオブザーバーとし、講演内容に関しての討論会がなされ、各県より頻りに貴重な意見が提出されて、全日程を無事終了し閉会式となった。

(椿大神社権禰宣)



県福社部長へ見舞金を寄託する会長

## 台風十号の見舞金を 県に寄託

昨年八月の台風十号は県下各地に多大な被害を及ぼし、悪夢のような痛ましい爪跡を残しました。我々は「美しの郷土三重の災害復旧に神青の微力を尽そう」と、県下会員一丸となり浄財募金活動を行った処、東海五県神青協・三重県敬神連合会のご協力も戴き、僅か十五日間で、二十二万八千七百九十九円という多額の浄財が集まり、九月十四日、会長以下役員四名で三重県福祉部へ「災害復旧の一助に」と納めて来ました。皆様の暖かいご協力に感謝致しますと共に、今後このような災害が起これぬよう「祈念平和」

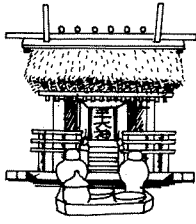
# 第一回大麻頒布実施

於 鈴鹿市・江島団地

## 大麻頒布に参加して

江原 不可止

去る十二月四日、三重県神道青年会第一回神宮大麻・氏神大麻頒布活動を、鈴鹿市江島若宮八幡神社の氏子区域である江島団地に於いて、富永会長以下十三名の会員で行った。当日は全員白衣・白袴にて参加した。前日には神社より広報車を借用し団地内の広報活動、当日は江島若宮八幡神社宮司前川栄次君を齋主に会員三名の助務により神宮大麻頒布報告祭を行った。団地二六八戸を五ブロックに分け、一ブロック三名により各家庭への頒布活動を行った。当日は土曜日であったため、留守家庭も多く、また神棚のない家庭もあつた為、頒布も苦労があつたように思われる。本年度の活動をふまえて、来年度以降の頒布活動の糧にして、今後もこの頒布活動を推進して行っていく予定である。



十二月四日鈴鹿市の江島団地で行われた大麻頒布に参加させていただきました。参加というよりは、つれていってもらったというのが妥当であつたと思います。神職の家に生まれて育つたのですが、大麻頒布は初めての事でありました。ですので先輩の後にしっかりとついて、玄関を開けてから閉めるまでの話を一部始終を聞かせてもらい、これを真似る事から始めました。何軒か回りなれて来ましたので、いよいよ自分独りで玄関を入っていく事にしました。うしろで聞いているのは異なり実際自分で話すのは大変難しい事だと思いました。あるお宅ではおばあさんが出て来られて、大麻頒布の話が致しますと、「私はお祈りしたい。しかし私が死んで子供の代になった時にお祈りしてくれるだろうか」と不安な気持ちを打ちあけてくれました。

た。たしかに私の回つたなかで多くのお年寄りが、表現は異なっていますが、この様な不安を持っているように感じました。私は、「今おばあさんがお祈りしなければ、次の代の人にもつとお祈りする機会を失ってしまいますよ」と話しました。同じ屋根の下に住んで居ながら、世代が異なる、この様になるものかと考えさせられました。

若い世代の多い団地と聞いておりましたが、どのお宅をたずねても、びっくりした様子もなく話を聞いてくれました。又、「江島若宮八幡神社から来ました」と言うと、非常に親近感をもって接してくれました。これは常日頃からの教化が行き届いているものと感じました。

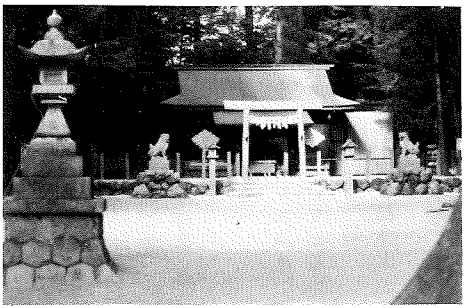
私も将来一社の宮司として氏子と接して行かなければなりません。祭典奉仕を通じての教化だけではなく、常日頃からも氏子と接し、教化までとはいかなくても、色々な話をしなければならぬと感じました。何も解らないまま参加したのですが、夕方には何か又一つ先輩の神職さん、氏子さんに教えていただいた様な気がしました。

(三重県護国神社権禰宜)

# 頭之宮四方神社

## 三重の神社巡り ③

鎮座地 度会郡大内山村宇細野三三一四番地の二  
御祭神 正二位 唐橋中将光盛卿  
神紋 花菱  
建物 本殿神明造三、八坪・拝殿八、一坪・神饌所三、七坪  
祭舎三、二坪・絵馬殿九坪  
社務所四六坪  
境内地 一、〇〇〇坪  
宝物 松鶴双省鏡(鎌倉時代)  
氏子数 三三二戸  
宮司 村田武男



頭之宮四方神社社頭

由緒 当神社のかたわらを通れる溪流(唐子川)の奥に、恐ろしい岸壁がそびえ立つ、高い山の上に「中将倉」と呼ばれる処があり、そこは昔「唐橋中将光盛卿」が城を構えていた処であります。  
本社之義、或る日、村童等が社地を流れる溪流にて遊んでいると、川上より鬮籠(くわご)一つ流れてくるのを見つ、子供達は何気なく拾って水に浮かべて戯れている処に、たまたま此の村の老人が通り合せて、これ

を見るや、子供達に向かって、不浄なりと諭し、その鬮籠を捨てさせて各家に帰らせた。然るにその老人はその処を去らずにいると、見る間に気が狂い大声で何事かを語り出した。曰く「予は唐橋中将光盛なり。今此の辺りにて童子を相手に、楽しく嬉戲しているにも拘わらず、汝来りて子に向かつて侮辱を加え遊びを妨げた。若し子の鬮籠を崇めまつらば汝の乱心を止め、万民に幸福を與え

# 会員ニュース

昭和五十七年

- 一月二十五日 神宮出仕阿田三郎 君長男誕生。祐樹君。
- 一月二十七日 神宮宮掌伊藤徳太郎君長女誕生。佐枝子ちゃん。
- 三月三日 神宮出仕小笠原源之君結婚。新婦薫さん。
- 三月十二日 椿大神社権禰宜宇佐美由男君長男誕生。嘉紀君。
- 三月十七日 神宮宮掌豊田勝繁君長女誕生。弥栄子ちゃん。
- 三月二十六日 神宮権禰宜佐藤昭典君三女誕生。晴香ちゃん。
- 三月二十九日 二見興玉神社権禰宜松本光久君結婚。新婦絹子さん。
- 四月十三日 神宮宮掌宮嶋通久君三女誕生。あすかちゃん。
- 四月二十日 神宮宮掌堀川宗晴君結婚。新婦詔子さん。
- 五月四日 神宮宮掌圓藤恭久君長男誕生。能久君。
- 五月七日 伊奈富神社宮司吉田義隆君長男誕生。実生君。
- 五月十一日 神宮宮掌亀田幸弘君長女誕生。知加ちゃん。
- 五月十九日 耳常神社宮司増田秀樹君長女誕生。千早ちゃん。
- 五月二十三日 神宮宮掌中西正幸君次女誕生。清乃ちゃん。

永く守護する。」と宣うた。それを村人が聞いて、大いに恐怖敬心を発し深く老人の無礼を謝し、神託の随所に現今の社地に神殿を造営し、産土神と尊崇し、その鬮籠を祀つたのが今の「首の宮」であります。

以来、靈験あらたかなることたびたびあり。特に首より上部に当たり之を祈るに、不思議にも神助の顯著なるによりだれ云うとなく「頭之守護神」として尊崇なし、その広大無辺なる神祐を称嘆讚美するに至る。尤も鎮座の始めは、建久二(一一九一)年に「首之宮」と唱えしが、後、宝永五(一七〇八)年に再び神託により、四方神社(よもう)と称し、霜月(十一月)十六日を以て例祭とし現今に至る。

「四方」とは「東西南北」の四方の方向を指し、四方八方まで、隅なく御神徳が広がることを意味します。また、神社脇を流れる溪流を唐子川(からこがわ)と呼ぶが、由緒の通り、御祭神の唐橋の「唐」と子供達の「子」から名付けられたと云う。

## お知らせ板

昭和五十七年度定例総会  
日時 三月十九日 午後二時  
場所 三重県神社庁  
※本年は役員改選を行いますので、必ず御出席下さい。

昭和五十八年

- 一月四日 椿大神社権禰宜岩田健司君長男誕生。匡史君。
- 一月二十四日 多度神社権禰宜辰守弘君次女誕生。時子ちゃん。
- 二月二十日 椿大神社権禰宜稲垣年君結婚。新婦雅子さん。

# 会務報告

自昭和五十七年五月二十八日  
至昭和五十八年二月八日

## 昭和五十七年

- 五月二十八日 定例総会 於神社庁
- 六月三日 親睦ボウリング大会 於津グリーンボウル
- 六月十日 お宮の子供会実行委員会 於志氏神社
- 六月十八、十九日 神青協定例総会 並びに沖繩復帰十周年記念式典 富永会長他二名参加
- 七月五日 役員会 於神社庁
- 七月二十一日 お宮の子供会実行委員会 於神社庁
- 七月三十一日 お宮の子供会準備
- 八月五、七日 第七回お宮の子供会開催 於志氏神社
- 八月二十四、二十六日 日本宗教青年会議 於神宮道場
- 八月二十八日 役員会 於神社庁
- 八月二十八日 神青・氏青合同懇談会 於神社庁
- 九月八、九日 東海五県神青協連絡協議会並びに教化研修会 八名出席 於来宮神社
- 九月十四日 台風十号水害見舞金を三重県福祉部へ寄託
- 九月十八日 上野市、阿山郡合同観月会 二名出席 於都美恵神社

九月二十四日 大麻頒布実行委員会

於江島若宮八幡神社

十月六日 役員会 於神社庁

十月二十八日 三重県護国神社仮殿遷座祭 十名奉仕

十月三十日 三重県神社関係者大会

奉仕 於神宮会館

指定団体功労者表彰 伊藤幸孝氏

十月三十日 野球大会 対戦(株)湊神符 於伊勢市

十一月十八日 大麻頒布実行委員会

於酒井神社

十一月二十八日 野球大会 対戦愛

知県神道青年会 於鈴鹿西部球場

十二月三、四日 神宮大麻頒布実践

活動 於江島若宮八幡神社

十二月十八日 神青家族会 於津グ

リーンホテル

昭和五十八年

一月二十日 役員会 於神社庁

一月二十四日 東海五県神青協連絡

協議会 於熱田神宮会館

二月八日 役員会 於神社庁

## 新入会員紹介

① 生年月日 ② 奉務神社

③ 住所 ④ 趣味

恒川 睦

① 昭和三十四年十二月十四日

② 金井神社禰宜

③ 員弁郡員弁町大字北金井一六三

七二五

内田良典

① 昭和三十四年七月二十日

② 鶴川原神社禰宜

③ 三重郡菰野町大強原

大西克美

① 昭和二十五年十二月二十四日

② 久留真神社宮司

③ 鈴鹿市中旭ヶ丘四丁目八一二

④ 居酒屋めぐり

岩田健司

① 昭和三十一年一月十五日

② 椿大神社禰宜

③ 鈴鹿市山本町一〇八九一

④ スキー・ゴルフ

宮村美津夫

① 昭和三十二年一月十八日

② 中郷神社

③ 一志郡嬉野町大字下之庄二七五

出崎久男

① 昭和三十四年八月二十二日

② 頭之宮四方神社出仕

③ 度会郡大内山村大平九九八

④ ドライブ

鈴木安彦

① 昭和二十年四月五日

② 殿岡神社

③ 志摩郡志摩町布施田九九八

向井敏通

① 昭和三十四年十二月八日

② 猿田彦神社出仕

③ 伊勢市宇治中之切町二二〇

④ テニス

福井光生

① 昭和三十五年一月十日

② 猿田彦神社出仕

③ 度会郡御園村高向五四二二

④ 単車、ギター、マンドリン

北島建孝

① 昭和三十三年七月三十日

② 神宮出仕

③ 伊勢市中村町二九一二神宮みや

④ ま寮

ギター

花井正浩

① 昭和三十四年一月三十一日

② 神宮出仕

③ 伊勢市中島二丁目一四一三二

鈴木史彦

① 昭和三十六年十二月二十五日

② 神宮出仕

③ 伊勢市中村町二九一二神宮みや

ま寮